



村上晴夫議員

Q 下水汚泥の全量 搬出はいつか

A 近い将来、 可能ではないか

一般質問

問 県北浄化センター汚泥の全量搬出の見通しは。

町長 新たに発生する汚泥の8割程度が場外に搬出されている。現在保管している汚泥について搬出先確保に向け国が動いていることから、近い将来、全量搬出が可能ではないか、との県から

の質問は、国北浄化センターの状況もあつた。下水汚泥の全量搬出の見通しは、精神的な損害賠償について国の原子力損害賠償紛争審査会が示している指針に規定がない状況である。よつて、この指針の中に入れてもらう

問 下水汚泥による損害賠償の見通しは。

町長 精神的な損害賠償について国の原子力損害賠償紛争審査会が示している指針に規定がない状況である。よつて、この指針の中に入れてもらう

の質問は、国北浄化センターの状況もあつた。下水汚泥の全量搬出の見通しは、精神的な損害賠償について国の原子力損害賠償紛争審査会が示している指針に規定がない状況である。よつて、この指針の中に入れてもらう

ように国・県・東京電力に継続的に、ねばり強く要求、要望していく。

町民の声を生かした庁舎建設をした

問 庁舎建設基本計画案に対する町民からの意見として「華美でなく機能性、効率性を重視し最小面積に「職員の駐車問題」が指摘されているが。

総務課長 庁舎については機能性、効率性に配慮し、面積も国基準に沿つたものとした庁舎復旧検討委員会からの意見をもとに進めていく。

町長 庁舎建設基本計画案に対する町民からの意見として「華美でなく機能性、効率性を重視し最小面積に「職員の駐車問題」が指摘されているが。

風評被害対策を

問 農家は今もつて風評被害に苦しんでいるが。

町長 農産物の検査体制を充実させ、安全であることを全国の消費者にホームページや首都圏との交流等により訴えていく。

町の維持発展のための行財政改革は

問 行財政改革に対する基本認識は。

町長 「いかに国・県から事業、お金を引き出すか」「いかに最小の経費で最大の効果を挙げるか」この視点で事業を進めていく。

町長 「いかに国・県から事業、お金を引き出すか」「いかに最小の経費で最大の効果を挙げるか」この視点で事業を進めていく。

問 平成18年からの行財政改革の重点は職員の意識改革であった。職員をどう評価しているか。

町長 職員は非常に素晴らしい能力を持っている。その能力を引き出すのが私の役割である。今までそれがなかったのではないかと職員と連携を取り、しっかりやつていく。

町長 職員は非常に素晴らしい能力を持っている。その能力を引き出すのが私の役割である。今までそれがなかったのではないかと職員と連携を取り、しっかりやつていく。



町活性化へ大好評の国見バーガー

職員の給与が国を上回つたが

町長 被災自治体を含む全国一律の削減であること。地方自治、地方分権に反すること。2点について県、国へ要望し、また近隣市町村の動向を注視し対応する。

問 国は厳しい財政状況と大震災の財源確保のため24年度から2年間に限り国家公務員の給与を7・8%引き下げた。この結果、役場職員の給与は国に対して県内市町

町長 被災自治体を含む全国一律の削減であること。地方自治、地方分権に反すること。2点について県、国へ要望し、また近隣市町村の動向を注視し対応する。

町長 「いかに国・県から事業、お金を引き出すか」「いかに最小の経費で最大の効果を挙げるか」この視点で事業を進めていく。

町長 被災自治体を含む全国一律の削減であること。地方自治、地方分権に反すること。2点について県、国へ要望し、また近隣市町村の動向を注視し対応する。

Q 藤田駅前駐車場を無料開放に

A 多額の経費が見込まれる

問

12月議会での答弁では「駅前には民間駐車場として百台分があり、うち半分程度使用されている」とのことであった。町で借り上げて無料開放すれば、町民の利便性が向上するし、駐車場の経営にとっても良いことではないか。積極的に検討すべきと思うがどうか。

建設課長

借り上げに年間約400万円という多額の経費が見込まれる。また、近隣市町で実施している例がない。今後慎重に検討していく。

国見小学校校庭の早期改修を

問

12月議会での答弁は「除染で校庭の水はけが悪く

なった。その後、砂を入れることにより徐々に改善、現在状況を見守っている」とのことであった。先日くみみ幼稚園の園庭の排水改修工事が立派に出来上がった。やり方によっては随分よくなる。雨が止んだらすぐに、校庭で運動できるように早急に、整備すべきでないか。

教育次長

今後、砂を入れる等の早期対応と通常の保守管理を細やかに実施し、状況を見守っていく。

県北浄化センターは迷惑施設だ、代償を

問

昭和59年に地権者が浄化センター用地提供を承諾した際に要望した周辺対策がなされていない。浄化センターは町に

更に、抜本的な解決に向け、技術的なこと、財源的なことを十分に検討する。



村上正勝議員



藤田駅前と駐車場の様子



改修された園庭で遊ぶ子どもたち(くにみ幼稚園)

町長

30年経過している。ある程度の決着はついているのではないか。しかし、今回汚泥問題が発生し

とって収益をもたらさない迷惑施設でしかない。地域活性化のための支援策を県に、さらに要望すべきと思うが町の考えは。

た。このことに対する県の支援策として森江野地区に室内遊び場が決定した。また、農商工一体となった交流の場の計画づくりに県から職員の派遣が決定している。

今後とも地域の活性化のために、積極的に県に要請していく。